米川Ｂチーム ２連覇

＝第２回　囲碁ボール大会＝

六月七日（日）午後一時三十分より第二回囲碁ボール大会が、全十二チームが参加し盛大に開催された。

Ａブロック、Ｂブロック、それぞれ六チームが各コートに分かれ、スタートの合図で熱戦が始まった。

白黒各十個のボールを各チーム五人の選手が交互に打ち、グリーンのコートに設けられた目（もく）（穴）に如何に正確に入れ、縦横斜めに並べていく競技で、打ち手の絶妙な距離感とチームとしての戦略が勝敗を左右する競技である。

各コートでは、悲鳴にも似た落胆の声や、勝利の雄叫びが聞こえていた。

圧巻は優勝した米川チームが出した全部のボールを違う目にすべて入れる大技の「五目一連」と、大北チームが出した五個のボールを一直線に並べる「五目一連」だった。大北チームは最後の一球を残し、相手チームに大きくリードをされた土壇場での大逆転劇であり、その神技に会場がどよめいた。

回を重ねる度に各チームの競技レベルも上がってきていることから、第三回囲碁ボール大会でも奇跡的なプレーが期待できそうである。

参加者の数も昨年を大きく上回っており、年代問わず楽しめる競技であることが認知され始めたのだと感じた一日であった。

囲碁ボール大会 成績表

優　勝…米川Ｂ
準優勝…千栄東Ａ
第３位…下八Ａ
４位…下八Ｂ
５位…法山Ａ
６位…大北Ｂ
７位…千栄東Ｂ
８位…法山Ｂ
９位…野芋Ａ
10位…野芋Ｂ
11位…米川Ａ
12位…大北Ａ

館報 千代
第２８１号
発行　千代公民館
編集　広報委員会
印刷　有限会社飯田写真印刷

＜千代の人口＞
平成27年６月末日現在
男　854名（－２）
女　916名（－７）
合計 1,770名（－９）

河鹿がえる祭り

半崎由香

七月四日（土）天気は…残念！今年も雨が降っていた。以前「河鹿がえるの神様が雨を降らせているから毎年雨が降るんだよ。」と言った友達の言葉を思い出し、今年も雨と共に祭りを楽しもうと思った。もちろん子ども達は雨の存在など気にしていないのだけど…。

今年の催し物は園児の可愛らしいダンスや、小学生の素晴らしい歌声、そして中学生の力強い声も会場に響いた。千代の小さな子ども達から大人までが参加でき、楽しめるお祭り。千代の素敵な所だ。

その後の催し物をゆっくり鑑賞する事は許されず、目を輝かせた子ども達に引っ張られながら夜店を転々とする事に。結局子ども達の要求に負け、「今日だけは…」と、しぶしぶ太っ腹に。

そして、ちょうちん行列と今年初の豪華な花火を見て、改めて千代の伝統の素晴らしさを実感した。何年もして、今の子ども達も我が子と共にこの祭りに参加をして、この素敵な千代の伝統をずっと楽しんでいってもらえたらいいなと思う。

「ちゃらんぽらあず」県知事表彰受賞

五月二十九日（金）「ちゃらんぽらあず」が、県知事から防犯功労表彰を授与された。

「ちゃらんぽらあず」は平成二十年、当時子ども達が犯罪被害者となる凶悪事件が社会問題となる中、ダンス好きの八名の女性が集まり、ボランティアとして会を立ち上げた。

当時の活動は、市内の保育園や小学校で防犯ダンス「イカのおすし」を踊りながら、被害防止を呼び掛けてきた。最近は振り込め詐欺やオレオレ詐欺など高齢者を狙った犯罪が多くなったため、「オレオレサンバ」のダンスでデイサービスセンターや老人ホームを年五～六回まわって活動している。

代表者の山田穂津香さんは、「会員の平均年齢は七十を超えているが、自分達が寝たきりや認知症になることなく、元気で健康にいられるよう踊っている。少しでもお役にたてればありがたい」と話していた。

若き消防団員の挑戦!!

六月十四日（日）午後、分団操法技術大会が千代小学校校庭でまちづくり委員会をはじめ各種団体の来賓の中、行われた。この競技は各番員が要項通りにホース展張、機関を扱い火点の的に放水して倒すまでのタイムと規律でいかに減点を無くすかを競い、各班五月中旬からこの日の為に練習してきた。大会はポンプ車一チーム、小型四チームで昔に比べて少なさに各班の団員確保に苦慮しているのがわかる。緊張の中各チーム練習の成果を出し切った。優勝は自動車班、準優勝野池班、三位下村班。ラッパ班のラッパ吹奏の部、予防救護班の救急操法の部も披露された。

笑える楽しい運動会を目指して!!

今年度の運動会方針【心の底から笑える楽しい運動会】となるよう例年以上に競技内容を検討することとなった。そこで全分館から意見集約を行った。以下はその一部である。

①競技数
- 多い。赤ちゃん連れ・お年寄りには長すぎる。
- 今のままで良い。減らせば白熱しなくなる。

②新しく考えたい競技
- 木遣りをモチーフに大声で叫び日頃のうっぷんを晴らす。
- 大声で愛の告白、自虐ネタ告白。色んな意味で笑いが起きる。
- 日頃言えない感謝を叫ぶ。感謝を叫べば涙を誘う。
- 綱引きの代わりに御柱もどきを。

③日程について
- 短くする。その後慰労会の準備等あるため。

④その他なんでも
- 景品の魅力がない。もっとほしいものにする。
- 富くじの復活。
- 露店の復活。若い人達で１ブースの他、五平餅など、外部からも依頼する。

おたんじょうび本が４月～６月生まれの児童へ贈呈されました!!

６月29日に千栄小にて５名へ贈呈。
千代小では６月26日に12名へ贈呈しました。

千栄分室（毛呂窪公民館内）で本を選び紙に欲しい本を記入する児童。

おたんじょうび本へ押すメッセージを考えたどんぐりの会（ちゃらんぽらあずも含む）の皆さん。

イナズマ

梅雨に入り、いよいよ雨の時期がやって来た。中休みのあとの雨は「これで本当に太陽の出る日があるのだろうか？」という程。七月に入り一日も太陽の顔を見てない。関東、九州では局地的な大雨により、水害も出ている。

この異常とも言える気象条件は、先日の果樹栽培の会議の中でも取り上げられ、開花が平年の五日～七日早かった事から始まり、収穫も早いと予想が出ている。この条件は平成十年がこの様な年で過去にはないらしい。花が早い年はいい年にならないという意識が私には強く、降雨・土砂・天候不順（台風や雹）等の災害が何かしらあるものである。ただ何も無い事を祈るばかりである。

話は変わるが、地域の高齢化等により、地域内の景観が失なわれて来ているのではないだろうか。昔田んぼだった、畑だったという所が雑木林になり、道すらも木の枝が垂れ下がり、放置状態の場所もあり、歩道の端には草が生え、どうも見苦しい状態ではないかと思う。

「千代はキレイな所」というイメージを是非みなさんに持ってもらい、「キレイな千代」にしていきたいものだ。

白熱教室！市政懇談会

千代地区市政懇談会が六月三日（水）午後七時から千代公民館で行われた。

第一部の冒頭、川手重光まちづくり委員長の挨拶では「三遠南信道やリニア中央新幹線で飯田市も大きく変わる。その夜明け前に千代も乗り遅れないよう変わらなければならない。」とし交流の場、産物、人口増加の重要性を訴えた。

続いて牧野飯田市長から三項目について順次説明があった。①平成二十七年度の取組。②第五次基本構想・基本計画の振り返り。③将来に向っての課題と対応。それぞれについて詳細説明があった。

第二部は地域から多くの意見が出された。これからの農家経営について地域おこし協力隊の導入。地域の産物でブランド化を計り小規模農家を生かす産業の育成。少子化対策と生涯現役で地域健康プロジェクト。学童保育会場の野外ステージ設備の一部改造等、市側との質疑応答があった。今回参加した竜東中三年の藤本龍太郎君の「リニアが開通しても集客の無い地区では意味が無い、飯田市の魅力を十分に発信して欲しい。」と要望が出された。又、奨学金制度の充実、十八歳まで医療費無料についての質問に市長もしっかりと対応すると回答した。

今回参加した下村の山口健治さんは「当時の自分と比較しても中学生と思えないしっかりとした考えを持っている。地域の将来に希望が持てる。」と感想を語った。

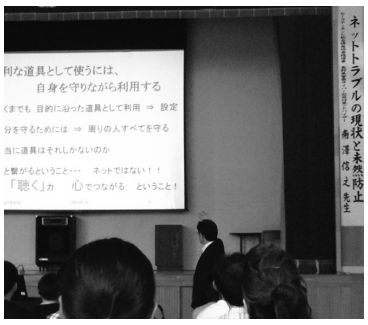
熱心な質疑応答で時間超過となったが意義のある市政懇談会であった。

千栄小PTA講演会

教養部長　清水晴歩

五月三十日（土）、千栄小学校でPTA講演会が行われました。講師に南澤信之さんをお招きして「ネットトラブルの現状と未然防止」を演題に前半は、南澤先生の講演。後半は子ども達と一緒になって実際にスマートフォン、タブレット、ゲーム機など家から持ってきた機器を操作して未然の防止策を教えていただきました。

講演では、ここ一年で身近に起きたネットトラブルの話をお聞きし、その件数の多さに驚かされ人ごとではないなと痛感させられました。一言の書き込みが一分もたたずに国を飛び越え世界へ発信されてしまう、一瞬にして被害者ではなく加害者になってしまう事もあり得る。一つ一つの操作を慎重に、かつ責任を持つ事の大切さ。子ども達にはゲームやタブレットは時間を決め使用した時間の倍以上は家族でコミュニケーションをとる事など勉強になる話ばかりでした。便利な機器が普及した反面、怖さがあるのだと感じました。我が家の第一歩として、コミュニケーションの時間を今までより多くとる様に心掛けようと思います。



野池神社御柱祭だより②

御柱が動き出す

御柱祭がいよいよ来春の四月十日（日）にせまる中、六月七日（日）に御柱式年祭の第一回実行委員会が行われた。各役職の代表者約五十名が集まり、業務分担と今後の日程について確認し合った。

野池神社総代長の大平宏さんからは、「御柱祭成功に向けて、各役職の皆さんの協力と力添えをお願いしたい」とあいさつがあった。また、野池神社の大平宮司さんからは、「心を一つに、協力一致でお願いしたい」、御柱総指揮官のまちづくり委員会の川手重光会長からは、「千代地区が一つにまとまるよう神様が与えてくれたお祭り。地区外へどんどん発信していきたい」とあいさつがあった。各役職の代表者の決意表明もあり、千代地区全体のお祭りとして気持ちも高まり、いよいよ御柱が動き出した。

木遣り無くして、御柱無し

七月四日（土）野池木遣り連の練習を見に行ってきた。夜七時、集まった地元の木遣りは六名。暗がりの中、思い思いに野池山に向かって声を挙げていた。木遣り責任者の北澤勝さんは、「千代地区全体の地域を挙げたお祭り。三十代、四十代の若い人にも木遣りとして参加して、御柱を盛り上げてほしい」と話していた。

毎月第一土曜日の夜七時から一時間、野池公民館で練習をしているので、出かけてみてはいかがですか。

竜東中地区スポーツ大会

五月十六日（土）竜東中学校地区交流スポーツ大会が行われた。第四十四回目の今年は昨年までのペタンクから、ワンふらバレーに種目を変えた。

上久堅、龍江、千代地区合同によるこの大会は各小学六年生も一緒に参加した。地区割りで十六チームに分かれ三試合で勝敗を競った。サーブは下から投げても良し、レシーブは四回以内など特別ルールで最初はルールを理解するのに苦戦していたが徐々にラリーも出来ていた。大会終了後に生徒と大会役員で反省会を行い、生徒からは「主審によってルールが違った」「変わった種目も検討したい」など来年への課題が残った。

千代少年野球クラブ

いっしょにあそぼうよ！

保護者会長　川手孝雄

千代少年野球クラブは現在男子四名女子三名計七名で活動しています。今年から監督が交代し、新たに榊山健二監督を迎え、日曜日の午前中に山村広場で練習をしています。

七名では試合に出場ができないのでもっと皆さんに野球の楽しさを知ってもらいたいと六月六日に「いっしょにあそぼうよ！」のイベントを行いました。保育園から小学校六年生のお友達七名が来てくれ「とても楽しかった」「野球もいいなー」と言う話をしてくれました。

練習ばかりでなく試合にも出たいと、上久堅少年野球クラブの方と話をして合同で参加することになり練習をしています。やっぱり人数が多いと部員は楽しそうです。

次回のイベントは八月二十九日（土）に予定しています。是非親子で遊びに来てみませんか。楽しいことがいっぱいですよ。部員一同お待ちしています。

千栄東交流大会

五月三十一日（日）千栄東交流会の囲碁ボール大会が千栄小体育館で行われた。

体育事業が分館統合になり交流を深める為昨年より始まった。小学生から年配の方まで参加者約五十名が八チームに分かれて四試合行った。

プレーでは三目、四目、奇跡の五目まで揃う好プレーなどコート毎に歓声が沸いていた。

終了後には毛呂窪公民館で表彰式と懇親会を行い更に親睦が深まった。太田久志米峰公民館長からは「今年は大勢の方の参加で大変盛り上がって良かった。今後も続けて行きたい。」また、翌週の本館囲碁ボール大会に向けて良い雰囲気となり楽しみとなった。

ふるさと講演会 in 法山

六月二十八日（日）、法山地域振興センターにおいて昨年に引き続き「ふるさと講演会ｉｎ法山」が開催された。

今年は竹田人形座の〝たけのこ会〟より水上さん、三石さんの二名と、バッカス男性合唱団長の中津さん夫妻をお迎えし『手操り人形劇と叙情歌の集い』と題し、篠田法山公民館長の挨拶により開演となった。

最初は手操り人形劇の獅子舞であったが、みごとに糸を操り獅子だけでなく、中の人まで同時に操る技に多くの拍手が浴びせられた。また、ガイコツの踊りでは、各骨が一瞬でばらばらに離れ踊りだす光景に、子ども達も最前列で食い入るように見ていた。

続いて中津団長が、誰もが一度は聴いたり、歌ったことのある曲を、感情を込め全九曲をとても優しい声で歌い、会場を訪れた全員が癒されていた。

最後はアンコールの声に応え、中津さんの歌に合わせて人形が踊るコラボにて講演会を締めくくった。

告知板

○八月一日（土）八時より
「千代こどもつり大会」
○八月五日（水）十九時より
「いいだ人形劇フェスタ
千栄小学校体育館」
○八月六日（木）九時より
「かんげきバスツアー」
○八月七日（金）十九時より
「いいだ人形劇フェスタ
法山地域振興センター」
○八月八日（土）
「飯田りんごん」
○八月九日（日）十時より
「いいだ人形劇フェスタ
千代公民館」
○八月十一日（火）
「第三回公民館企画委員会」
○八月二十二日（土）
「千代の人物伝シリーズ⑤」
○八月二十三日（日）
「第一回千代野外音楽祭」
○八月三十日（日）
「地震防災訓練」
○九月六日（日）
「ソフトバレーボール
交流大会」
○九月二十七日（日）
「よこね田んぼ
稲刈り体験＆収穫祭」

戸籍の窓

○お誕生
金田　叶（のあ）愛ちゃん
生伍・莉歩　長女（下村）

お詫びと訂正

前号の役員名簿で記載漏れがありました。お詫びし、左記の通り追加させていただきます。

◇産業建設部
委員　長沼操二（大郡）